

1. 本授業科目の基本情報

講義名（コード）	THB110	サステナビリティとビジネス II	
科目名（コード）	THB110	サステナビリティとビジネス II	
対象学科	グローバルビジネス学科	配当学年	1年生
対象コース	HB1	単位数	2単位30
授業担当者	辻野啓一	時間数	
成績評価教員	長島洋介	講義期間	秋期
実務者教員	はい	履修区分	
実務者教員特記欄	本授業は、実務経験者による授業科目である。		

2. 本授業科目の概要

到達目標・目的	前期と同じ
全体の内容と概要	前期と同じ
授業時間外の学修	前期と同じ
履修上の注意事項等	前期と同じ

3. 本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件	下記基準に従う。出席は2/3以上が必要となる。1/3以上の欠席の場合、自動的に落第となる。		
評価基準	知識（期末試験点） 60%	自己管理能力（出席点） 30%	協調性・主体性・表現力（平常点） 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90～100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80～89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70～79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60～69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
	F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。

4. 本授業科目の授業計画		
回	到達目標	授業内容
1	イベント検定受験の下地ができる。 イベントを活用した地方創生の知識	Tourism Expo 視察 9月29日 業界日
2	イベント検定受験の下地ができる。 イベントを活用した地方創生の知識	発表資料づくり
3	イベント検定受験の下地ができる。 イベントを活用した地方創生の知識	Tourism Expo 視察について発表
4	イベント検定受験の下地ができる。 イベントを活用した地方創生の知識	自習 日本のイベントについて
5	イベント検定受験の下地ができる。 イベントを活用した地方創生の知識	イベント検定 第九節 <イベントのプログラム制作> イベント検定 第十節 <イベントの告知・集客>
6	イベント検定受験の下地ができる。 イベントを活用した地方創生の知識	イベント検定 第十一節 <イベントの運営とマネジメント> イベント検定 第十二節 < イベント運営業務のポイント>
7	イベント検定受験の下地ができる。 イベントを活用した地方創生の知識	イベント検定 第十三節 < リスクマネジメントと安全管理> イベント検定 第十四節 < これからのイベントマネジメント>
8	イベント検定受験の下地ができる。 イベントを活用した地方創生の知識	イベント検定 第十五節 < ユニバーサルイベント >
9	イベント検定受験の下地ができる。 イベントを活用した地方創生の知識	事例研究 ホノルルマラソン
10	イベント検定受験の下地ができる。 イベントを活用した地方創生の知識	事例研究 ホノルルフェスティバル
11	イベント検定受験の下地ができる。 イベントを活用した地方創生の知識	イベントマネジメント 祭りとフェス
12	イベント検定受験の下地ができる。 イベントを活用した地方創生の知識	事例研究 よさこいソーラン
13	イベント検定受験の下地ができる。 イベントを活用した地方創生の知識	まとめ 総合的検察
14	期末試験	学期試験
15	追試・フィードバック	Feedback

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等	
教科書	イベント検定 公式テキスト 基礎から学ぶ、基礎からわかるイベント 一般社団法人 日本イベント産業振興協会 <発売元 株式会社UDジャパン>
参考文献・資料等	イベント&コンベンション概論 (JTB総研)
備考	イベント検定は11月1日から11月30日(予定) ・本教員は、イベント系企業にて、多くのイベント企画、営業や人事その他の業務を歴任した。その経験を活かして、企業コンサルタント、学校等の高等教育機関にて指導を展開している。